

アイデアの系譜学②



若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<読書も思考も体育だ!と言ってみる…>

日吉キャンパスに通う学生さんにとって、語学と共に日々の学びを形作るのが、体育です。高校でもおなじみのテニスや水泳で汗を流す授業もあれば、体育科目として自動車や気功にチャレンジするものもあるようです。また、学びのステージによって、学校によって、あるいは世代によって、体育でどんな経験をしてきたのか、各人にとって体育がどんな意味を持っているのかも幅の広さがあるようです。「アイデアの系譜学」読書会は、語学の先生が主催するブックトークの企画ですが、一見すると読書や思考とは対極に位置する「体育」について、動くことや触ることを出発点に、今回はお喋りしてみたいと思います。折しも哲学の世界では散歩がキー・テーマになりつつあるため、ロジェ＝ポル・ドロワ『歩行する哲学』やレベッカ・ソルニット『ウォーターズ：歩くことの精神史』を併せて紹介します。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回の単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です！

動く・浮かぶ・静止する
体育からデザインにいたる身体感覚

1月30日(金)
13:00 ~
14:00 (予定)
※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階 103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します!)
★事前登録不要★

問い合わせ：
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp